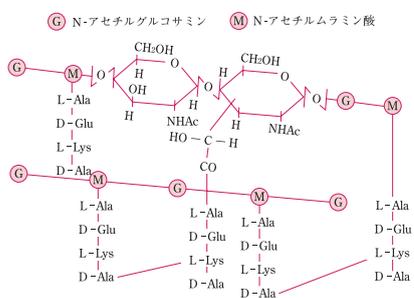
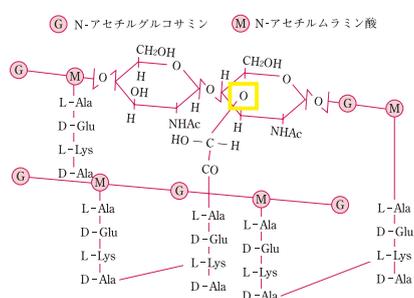
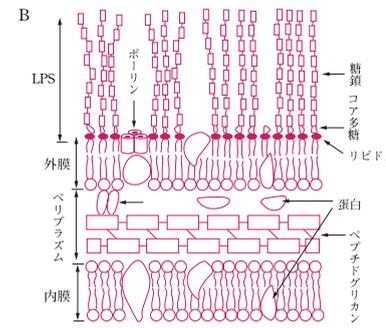
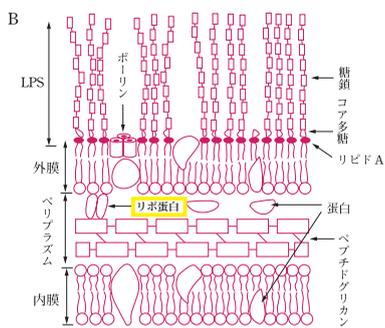


「獣医微生物学第3版」1刷目の正誤表です。以下の通りここに訂正いたします。なお、2刷目では、これらの間違いは訂正されております。

掲載箇所	誤	正
目次	13. クラミジア……………(福士秀人)…132	13. クラミジア……………((福士秀人, 大屋賢司)…132
8頁	は大まかに相関し, 高等生物を除いては遺伝子数	は大まかに相関し, 高等生物を除いては遺伝子数もほぼそれに相関する(図1-3)。
18頁 図2-5 (黄色の囲み部分を追加)	 <p>図2-5 グラム陽性菌のペプチドグリカンの分子構造</p>	 <p>図2-5 グラム陽性菌のペプチドグリカンの分子構造</p>
19頁 図2-6の右部分 (黄色の囲み部分を追加)		
42頁 図2-27の説明	ここでは, システインをコードするTGCの3番目の塩基CがT, A, またはGに変異してそれぞれサイレント変異, ナンセンス変異, ミスセンス変異になる例を示した。(b)塩基の欠失および(c)挿入によるフレームシフト変異で, システインをコードする部位の変化により読み枠がずれて, その下流に終止コドンを生じた例を示した。	ここでは, システインをコードするTGCの3番目の塩基CがT, A, またはGに変異してそれぞれサイレント変異, ナンセンス変異, ミスセンス変異になる例を示した。(b)塩基の挿入および(c)欠失によるフレームシフト変異で, システインをコードする部位の変化により読み枠がずれて, その下流に終止コドンを生じた例を示した。
66頁右段 1~2行目	腸内細菌科細菌に共通した性状に加えて, 各菌属に特徴的な生化学的性状を表2-16に示す。	腸内細菌科細菌の主要菌属の特徴的な生化学的性状を表2-16に示す。
78頁左段 32行目, 38行目	<i>A. salmonicida</i>	<i>A. salmonicida</i>
80頁左段 15行目	<i>B. trehalosi</i>	<i>B. trehalosi</i>
85頁左段 22行目	<i>P. aeruginosa</i> はブドウ球菌, 連鎖球菌, 緑膿菌, 大腸菌と複合感染して乳牛に乳房炎を起こす	<i>P. aeruginosa</i> はブドウ球菌, 連鎖球菌, 大腸菌と複合感染して乳牛に乳房炎を起こす
86頁右段 18行目	さらには鼻甲介骨や顔面の変形をきたす場合がある。	さらには鼻甲介骨や顔面の変形をきたす場合がある。
88頁左段 2行目	経皮感染	経口感染
92頁表 2-30内	ペイヨネラ属の硝酸塩還元 の項目 -	+
93頁左段 6行目, 8行目	<i>P. melaninobenica</i>	<i>P. melaninogenica</i>
93頁左段 19行目, 8行目	<i>fundrliforme</i>	<i>funduliforme</i>
97頁左段 24行目	スピリルム <i>Spirillum</i> 属	スピリルム <i>Spirillum</i> 属
100頁左段 29行目, 37行目	<i>T. pilosicoli</i>	<i>B. pilosicoli</i>
106頁左段 17行目	獲得免疫	獲得耐性

掲載箇所	誤	正
107 頁左段 22 行目	<i>B. sbtilis</i>	<i>B. subtilis</i>
108 頁表 2-38	MAPKs 特異的メタロプロテアーゼ	MAPKs 特異的メタロプロテアーゼ
113 頁左段 14 行目	Listeria pathogenicity island	Listeria pathogenicity island
119 頁左段 25 ~ 28 行目	<i>M. avium</i> subsp. <i>avium</i> は家禽、野鳥などの鳥類に病原性を示すほか、豚に自然感染してリンパ節に限局性の肉芽腫病巣を作る。	<i>M. avium</i> subsp. <i>avium</i> は家禽、野鳥などの鳥類に病原性を示すほか、後述の <i>M. avium</i> subsp. <i>hominissuis</i> 同様、豚に自然感染してリンパ節に限局性の肉芽腫病巣を作る (豚の抗酸菌症)。
120 頁右段 6 行目		「1) アクチノマイセス属」の見出しを追加
124 頁左段 10 行目	表 2-44	表 2-33
126 頁右段 16 行目	動物のマイコプラズマは呼吸器,	動物のマイコプラズマ (表 2-44) は呼吸器,
128 頁右段 21 行目	ネオレケッチア属	ネオリケッチア属
132 頁左段 3 行目	人類粒球型エーリキア症	人類粒球型エールリキア症
132 頁右段 30 行目	クラミジア目は 4 科 6 属 13 種からなる (表 2-46, 図 2-65)。	クラミジア目は 4 科 6 属 13 種からなる (表 2-46)。
134 頁左段 15 行目	形態をとる (図 2-66 および図 2-67)。	形態をとる (図 2-65 および図 2-66)。
137-138 頁	レジオネラの追補があります。別の pdf をご覧ください。	

127 頁表 2-44 黄色の項目を追加

表 2-44 主な動物由来マイコプラズマの宿主と生息寄生部位および病気

宿主	菌種名 (species)	生息・寄生部位	疾病名
牛	<i>M. mycoides</i> subsp. <i>mycoides</i> SC	呼吸器, 関節, 乳房	牛肺炎 (法定)
	<i>M. bovis</i>	上部気道, 乳房, 生殖器	肺炎, 乳房炎, 中耳炎
	<i>M. bovinegenitalium</i>	上部気道, 乳房, 生殖器	乳房炎
	<i>M. dispar</i>	呼吸器	子牛肺炎
	<i>M. wenyonii</i>	赤血球	ヘモプラズマ症 (旧エベリスロゾーン病: 貧血)
	<i>Ureaplasma diversum</i>	生殖器, 上部気道	肺炎
羊・山羊	<i>M. mycoides</i> subsp. <i>mycoides</i> LC	呼吸器, 関節	伝染性無乳症 (届出), 胸膜肺炎, 関節炎
	<i>M. mycoides</i> subsp. <i>capri</i>	呼吸器, 関節	伝染性無乳症 (届出), 胸膜肺炎, 関節炎
	<i>M. capricolum</i> subsp. <i>capricolum</i>	関節	伝染性無乳症 (届出), 胸膜肺炎, 関節炎
	<i>M. capricolum</i> subsp. <i>capripneumoniae</i>	呼吸器, 関節	伝染性胸膜肺炎 (届出), 関節炎
	<i>M. ovipneumoniae</i>	呼吸器, 眼	肺炎
豚	<i>M. hyopneumoniae</i>	肺	肺炎
	<i>M. hyosynoviae</i>	上部気道, 関節	関節炎
	<i>M. hyorhinis</i>	上部気道	関節炎, 多発性漿膜炎, (肺炎)
鶏・七面鳥	<i>M. gallisepticum</i>	呼吸器, 関節	呼吸器性マイコプラズマ病 (届出)
	<i>M. synoviae</i>	呼吸器, 関節	伝染性滑膜炎 (届出)
	<i>M. meleagridis</i>	呼吸器	気嚢炎
マウス・ラット	<i>M. pulmonis</i>	呼吸器	慢性呼吸器病
	<i>M. arthritis</i>	関節	関節炎
犬	<i>M. cynos</i>	肺	肺炎
	<i>M. canis</i>	上部気道, 膈	泌尿生殖器病
猫	<i>M. felis</i>	膈, 口腔, 眼	結膜炎
	<i>M. haemofelis</i>	赤血球	ヘモプラズマ症 (旧ヘモバルトネラ症: 貧血)
	<i>M. pneumoniae</i>	肺	原発性異型肺炎 (人マイコプラズマ肺炎)
人	<i>M. genitalium</i>	尿道	非淋菌性尿道炎?
	<i>Ureaplasma urealyticum</i>	咽頭, 生殖器	非淋菌性尿道炎